平成 28 年 9 月

# 地域経済動向調査報告書

~平成 28 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業~

益子町商工会

I.	益子町の概要	3
]	I-(1). 益子町の人口動態	3
	I-(1)-1. 益子町の人口の推移	3
	I-(1)-2. 益子町の高齢化率の推移	4
	I-(1)-3. 益子町の年代別人口増減と転入転出状況	5
]	I-(2). 益子町の経済概要	7
	I-(2)-1. 益子町の地域経済循環状況	7
	I-(2)-2. 益子町の産業別経済循環と生産状況(2010年)	8
	I-(2)-3. 益子町の産業別就業者の割合(2010年)	10
	I-(2)-4. 益子町の産業別売上金額の割合(2014年)	11
	I-(2)-5. 益子町の 1 人あたりの産業別売上金額の割合(2014 年)	12
	I-(2)-6. 益子町の産業別特化係数(製造業)	13
II.	益子町の第1次産業	14
]	II-(1). 益子町の農産物の販売額	14
,		
	II-(2). 益子町の農林水産業	15
III		
III		16
III	. 益子町の第 2 次産業	16

II	I-(1)-3.	益子町の工業粗付加価値額の推移1	8
II	I-(1)-4.	益子町の1人あたりの粗付加価値額の推移	9
IV.	益子町の	D第 3 次産業等2	<u>2</u> 0
IV-(	(1). 益子	子町の商業動向2	20
IV	/-(1)-1.	益子町の年間商業販売額の推移2	20
IV	/-(1)-2.	益子町の商業従業者数の推移2	21
IV	′-(1)-3.	①益子町の商業従業者一人当たり年間商品販売額の推移2	22
IV-(	(2). 益子	子町のその他の指標2	<u>2</u> 3
IV	/-(2)-1.	益子町の創業比率と黒字赤字企業比率2	23
٧.	Append	ix(栃木県の情報)2	<u>2</u> 5
V-(:	1). 栃木	県全体の情報2	25
V-	-(1)-1. 柞	版木県の主要指標2	25
V-	-(1)-2. 柞	版木の県民所得2	26
V-	-(1)-3. 柞	<b>栃木の経済状況2</b>	<u>2</u> 8
V-	-(1)-4. 柞	版木の市町村民経済計算3	31

#### I. 益子町の概要

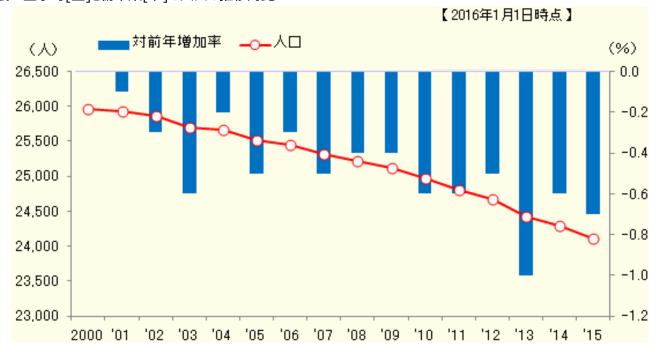
## I-(1).益子町の人口動態

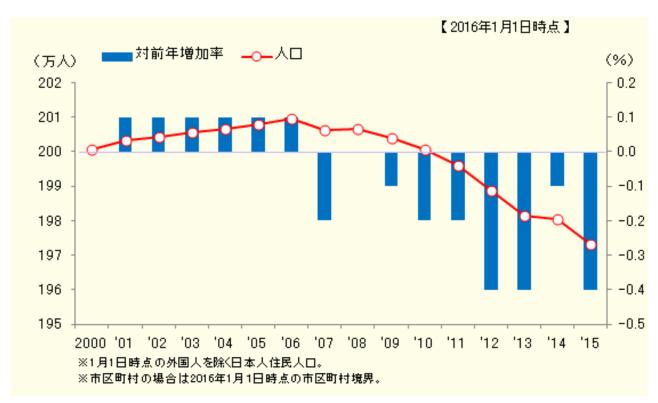
#### I-(1)-1.益子町の人口の推移

・益子町の 2016 年 1 月 1 日時点の人口は、23,849 人であり、前年より 0.7%ほど減少している。栃木県は 0.4%減のため、県の平均よりも人口が減少していることがわかる。

・この 10 年間、人口の減少幅は横ばいである為、早急に改善に繋がる対策の実施が求められる。

図表:益子町[上]と栃木県[下]の人口の推移対比

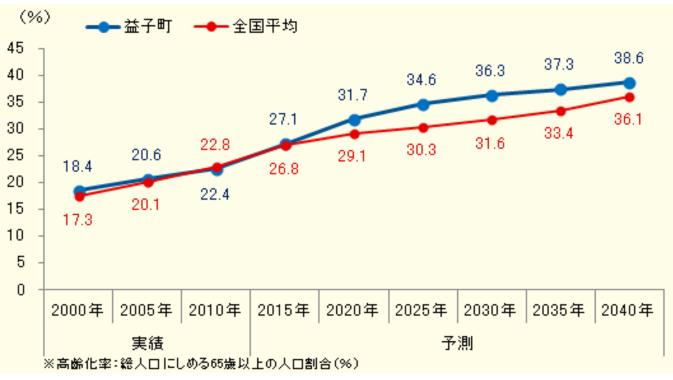


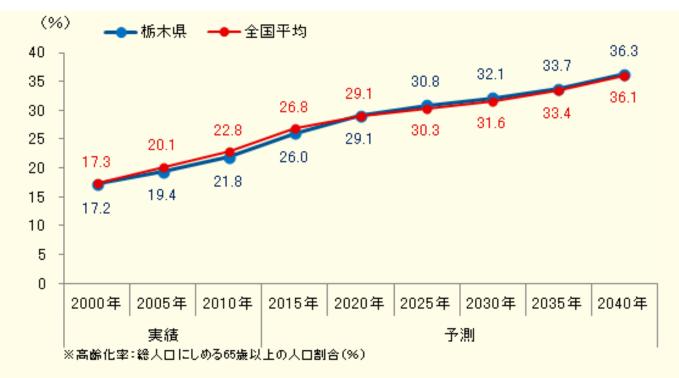


#### I-(1)-2.益子町の高齢化率の推移

- ・益子町の 2010 年度の高齢化率(65 歳以上の割合)は 22.4%で、全国平均の高齢化率より少し低かった。ただ、栃木県全体は 21.8%のため、県内平均よりも高齢化が進んでいる。
- ・また、このまま高齢化が進んだ場合、2040年には38.6%まで上昇し、3人に1人以上が高齢者になると見込まれる。

#### 図表:益子町[上]と栃木県[下]の高齢化率の推移対比





#### I-(1)-3.益子町の年代別人口増減と転入転出状況

- ・2005 年から生産年齢の人口の減少が始まった。減少幅は拡大し続けるいっぽう、2015 年から老年人口は増え続けている。 さらに、2020 年からは、老年人口の増加率も減少に転じるため、人口全体の減少率が増加していく。
- ・栃木県全体は、転入より転出、特に東京圏への転出が多い。また近年の傾向として、北関東からの転入が増えてきた。

図表:益子町の人口増減[上]/栃木県\_地域ブロック別純移動数[下]



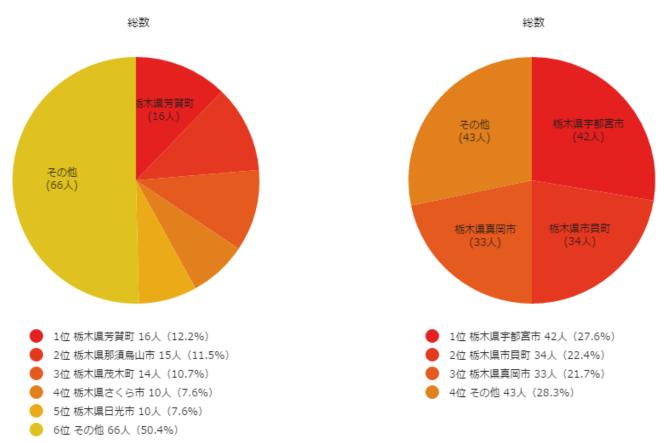
・2010 年以降、益子町は転入より転出が多い状況が続いている。特に、15-64 歳の生産年齢層の転出が際立って増えている。いっぽうで、65 歳以上の転入が増えてきている。ただ、0-14 歳も一定数は転入してきており、事例としては珍しい。 ・芳賀長や那須烏山市、茂木町からの転入が多いいっぽうで、宇都宮市や市貝町、真岡市への転出が多い。

図表:益子町の年齢階級別純移動数[上] /益子町の From-to 分析(2014 年)[下]



## 転入超過数内訳

# 転出超過数内訳

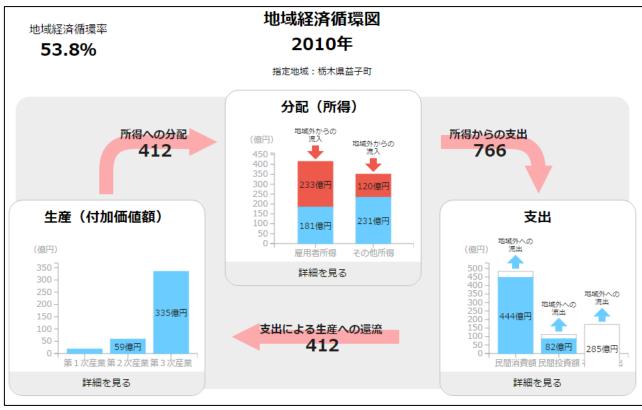


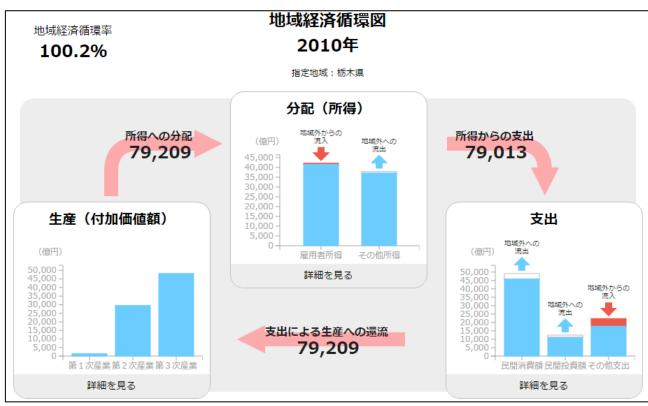
#### I-(2).益子町の経済概要

#### I-(2)-1.益子町の地域経済循環状況

・生産(付加価値額)を分配(所得)で除した地域経済循環率は、地域経済の自立度を示しており、値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。益子町の地域経済循環率は 53.8%と、栃木県全体の 100.2%よりも非常に低く、経済的に自立しているとは言いがたい状況である。

図表:益子町[上]と栃木県[下]の地域経済循環図比較





## I-(2)-2.益子町の産業別経済循環と生産状況(2010年)

- ・益子町は栃木県の平均に比べ、一人あたりが生み出す付加価値額が低い。特に、2 次産業は 208 万円となっており、県内平均(962 万円)を大幅に下回っている。
- ・雇用者所得も栃木平均より低く、その他支出の支出流出入率はマイナス 166.7%となっている。

#### 付加価値額(一人当たり)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
益子町:付加価値額(一人当たり)	198 万円	208 万円	683 万円
栃木県:付加価値額(一人当たり)	255 万円	962 万円	805 万円

#### 所得(一人当たり)

	雇用者所得	その他所得
益子町:所得(一人当たり)	336 万円	144 万円
栃木県:所得(一人当たり)	432 万円	183 万円

#### 支出流出入率

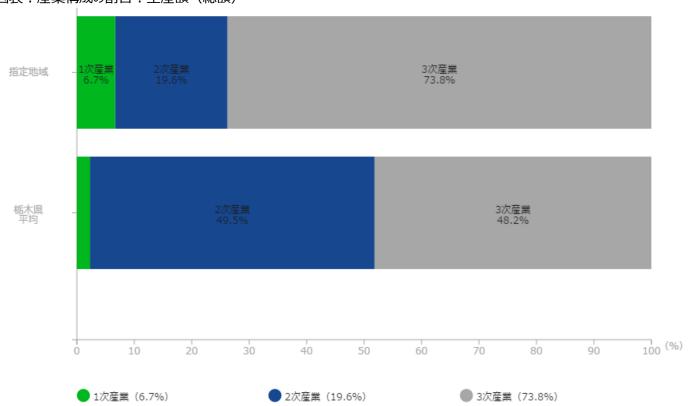
	民間消費	民間投資	その他支出
益子町:支出流出入率	-8.1%	-26.5%	-166.7%
栃木県:支出流出入率	-7.3%	-9.2%	28.2%

出典:経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者作成

#### ■産業別生産額の対比

益子町は栃木県平均と比べ、1次産業と3次産業の割合が高い。

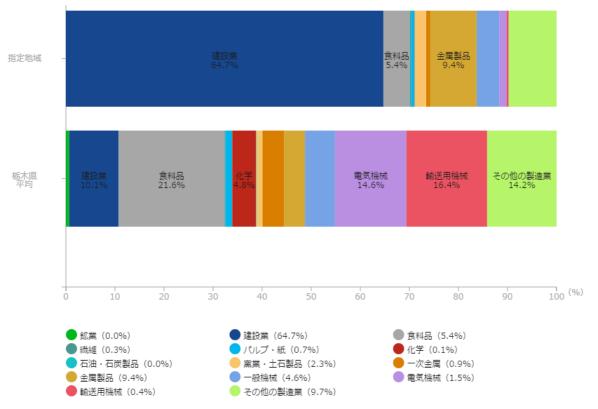
図表:産業構成の割合:生産額(総額)



#### ■2次産業と3次産業内の生産額の割合

・2 次産業の生産額の約 65%が建設業によるものである。

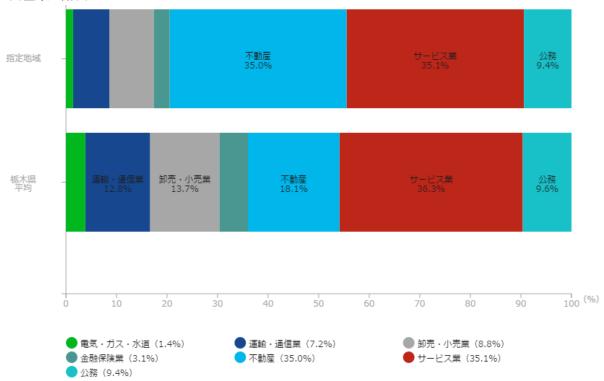
図表:2次産業の生産額の割合



出典:経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

・3次産業では県平均に比べて不動産業の生産額の割合が高く、運輸・通信業による生産割合が低い。

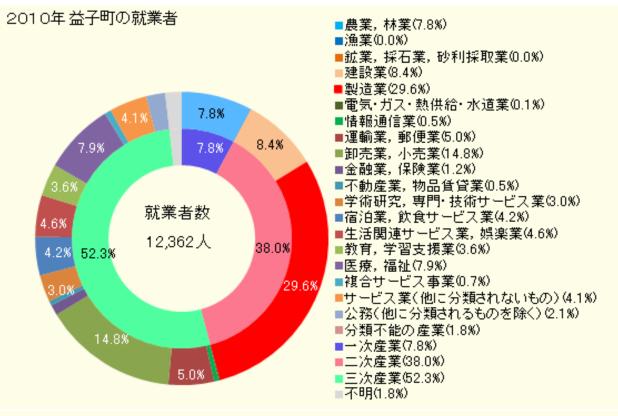
図表:3次産業の割合

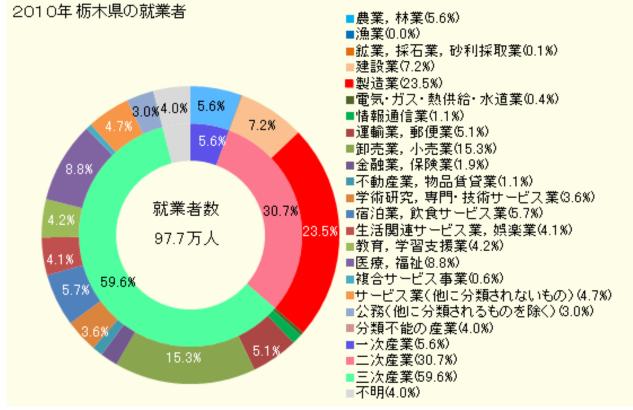


#### I-(2)-3.益子町の産業別就業者の割合(2010年)

- ・益子町は栃木県全体に比べて、2次産業の就業者の割合が7.3%高く、3次産業の就業者の割合は7.3%低くなっており、上記生産額の分析内容と比例していることが分かる。
- ・2 次産業では製造業の従業者が最も多く(29.6%)、3 次産業では卸・小売業が最も多い(14.8%)。

#### 図表:益子町[上]と栃木県[下]の産業/業種別就業者の割合

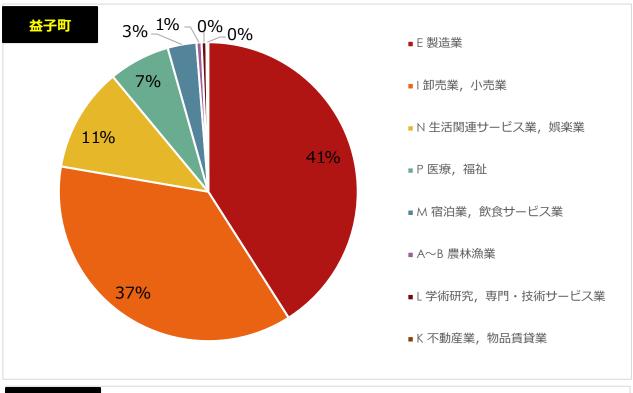


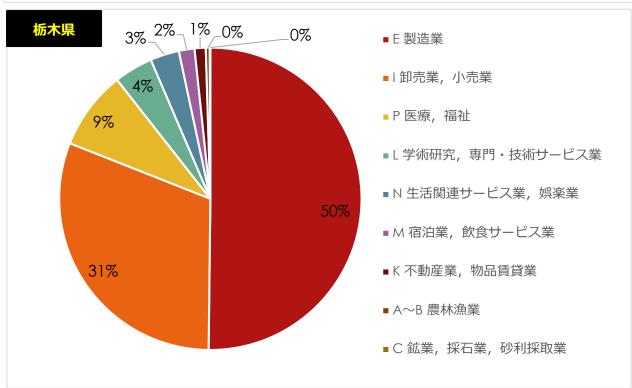


## I-(2)-4.益子町の産業別売上金額の割合(2014年)

- ・2014 年、益子町で最も売上を上げたのは製造業で、全体の 41%の売上を占めている。その次には卸売業・小売業が 37%と続いており、この 2 産業で益子町の売上の 77%を占めていることになる。
- ・栃木県と比較した場合、製造業の割合は若干少なく、卸・小売の割合が若干多い。また、医療・福祉の割合も多い。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の産業(大分類)ごとの売上金額割合





出典:総務省『経済センサス-基礎調査\_平成26年』より筆者作成

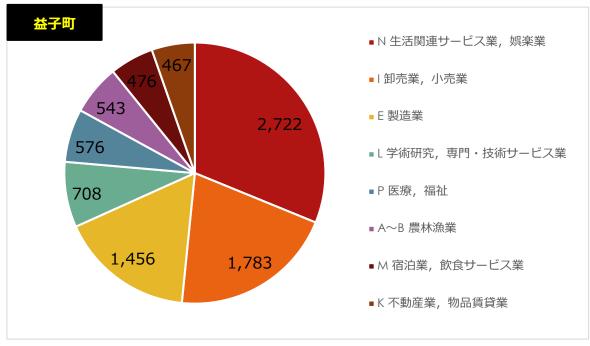
※D 建設業 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業, 郵便業 J 金融業, 保険業 O 教育, 学習支援業 Q 複合サービス事業 R サービス業(他に分類されないもの) C 鉱業, 採石業, 砂利採取業は対象外

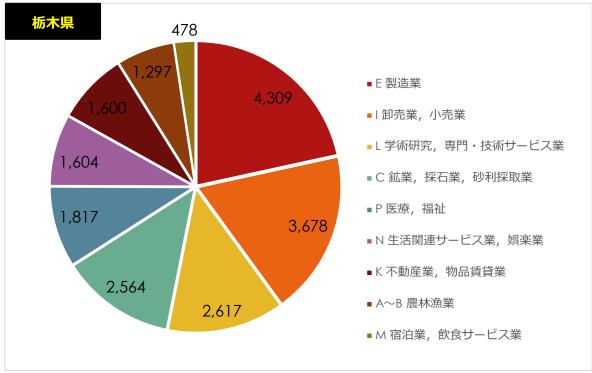
#### I-(2)-5.益子町の 1 人あたりの産業別売上金額の割合(2014年)

- ・2014 年、益子町で最も一人当たりの売上高が高かった産業は、生活関連サービス業・娯楽業(2,722 万円)で、栃木県の平均より約1,100万円高い。
- ・いっぽう製造業、卸売業・小売業、学術研究、専門技術サービスなどの主要産業では、県内の平均を下回っている。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の産業(大分類)ごとの従業者1人あたり売上割合

単位:万円





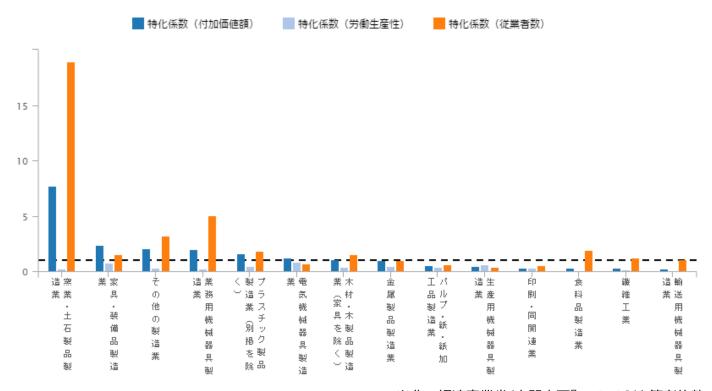
出典:総務省『経済センサス-基礎調査\_平成26年』より筆者作成

※D 建設業 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業, 郵便業 J 金融業, 保険業 O 教育, 学習支援業 Q 複合サービス事業 R サービス業(他に分類されないもの) C 鉱業, 採石業, 砂利採取業は対象外

#### I-(2)-6.益子町の産業別特化係数(製造業)

- ・益子焼がある為、窯行・土石製品製造業の付加価値額と従業員数の特化係数が非常に高くなっている。そのほか、家具・ 装飾品製造業や業務用機械器具製造業などの特化係数も高くなっている。
- ・いっぽうで、労働生産性の特化係数は全業種で全国平均を下回っており、改善施策の実施が必要である。

図表: 益子町の産業別特化係数



出典:経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

※特化係数:域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

※労働生産性=付加価値額(企業単位)÷従業者数(企業単位)

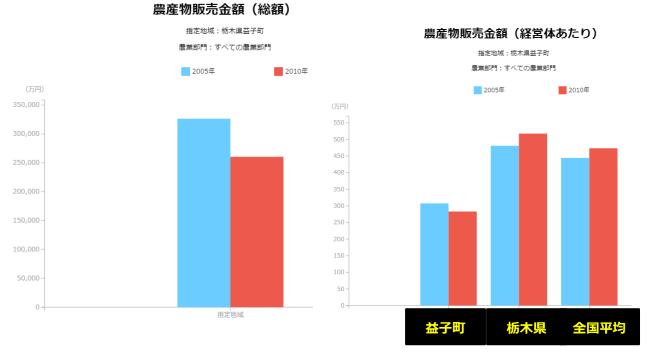


#### II. 益子町の第1次産業

#### II-(1).益子町の農産物の販売額

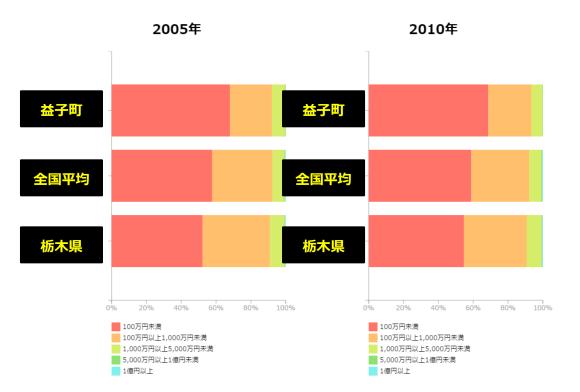
・2005 年(326,275 万円)と比べ、2010 年(260,400 万円)農産物の販売総額は 21%ほど減少した。経営体当たりの 販売金額も減少しているが、同様に従業者数が減っている栃木県および全国平均では、販売金額が上昇している。

図表:益子町の農産物の販売金額(総額、経営体当たり)と農産物金額帯別の経営体の割合



#### 農産物販売金額帯別の経営体の割合

指定地域:栃木県益子町



#### II-(2).益子町の農林水産業

・耕地面積のうち、水田が占める割合が 59.4%であり、これは全国に比べると高いが、栃木県の平均を下回っている。そのいっぽうで耕地面積率は 25.1%で、全国平均の約 2 倍であり、栃木県の平均を上回っている。

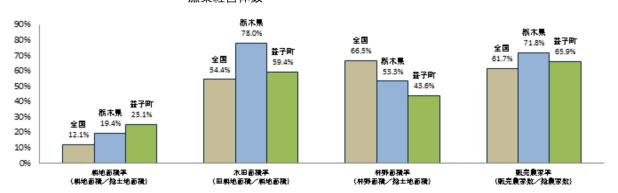
#### 図表: 益子町の農林水産業の基本指標

■ 面積	
総土地面積	8,940 ha(1.4%)
耕地面積	2,240 ha(1.8%)
田耕地面積	1,330 ha(1.4%)
畑耕地面積	917 ha(3.3%)
林野面積	3,902 ha(1.1%)
■人口	
総人口	24,348 人(1.2%)
農業就業人口	1,264 人(2.0%)
漁業就業者数	

■ 世帯等	
総世帯数	7,801 世帯(1.0%)
農業経営体数	851 経営体(2.1%)
総農家数	1,265 戸(2.3%)
自給的農家数	431 戸(2.8%)
販売農家数	834 戸(2.1%)
主業農家数	175 戸(2.0%)
準主業農家数	206 戸(2.0%)
副業的農家数	453 戸(2.2%)
林業経営体数	34 経営体(1.5%)
漁業経営体数	



注1:総人口、総世帯数、農産物直売所数については H22年値、漁業就業者数、漁業経営体数、漁船隻数 についてはH25年値、その他はH27年値。 注2:()内は都道府県内でのシェア。



出典:農林水産省『わがマチ・わがムラ』より筆者抜粋

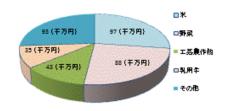
- ・販売農家数も米が869戸であり、2位の野菜でも143戸である。
- ・工芸農作物は県内シェア40.2%、市内の農業産出額の12%を占めており、益子町の大きな特徴といえる。

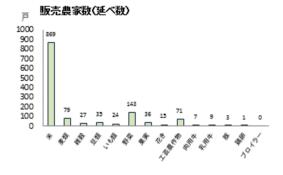
図表: 益子町の農業部門別の産出額・販売農家数

■ 農業産出額		■ 販売農家数
合計	356 千万円(1.4%)	834 戸
耕種計	280 千万円(1.6%)	
*	97 千万円(1.4%)	869 戸
麦類	7 千万円(1.4%)	79 戸
雑穀	3 千万円 (3.8%)	27 戸
豆類	6 千万円(2.2%)	35 戸
いも類	3 千万円(2.1%)	24 戸
野菜	88 千万円(1.2%)	143 戸
果実	14 千万円(1.6%)	36 戸
花き	20 千万円(2.6%)	15 戸
工芸農作物	43 千万円(40.2%)	71 戸
種苗・苗木類・その他	1 千万円(0.9%)	
畜産計	75 千万円(0.9%)	
肉用牛	7 千万円(0.3%)	7 戸
乳用牛	35 千万円(1.1%)	9 戸
うち生乳	31 千万円(1.1%)	
下。 第	18 千万円(1.0%)	3 戸
鶏	15 千万円(1.0%)	
うち鶏卵	15 千万円(1.5%)	1戸
うちブロイラー	_	-
その他畜産物	0 千万円	
加工農産物	0 千万円	

注1:農業産出額についてはH18年値、販売農家数の合計についてはH27年値、内訳はH22年値。 注2:()内は都道府県内でのシェア。







出典:農林水産省『わがマチ・わがムラ』より筆者抜粋

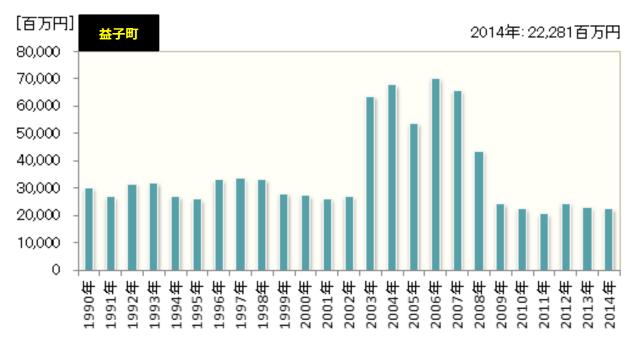
#### III. 益子町の第2次産業

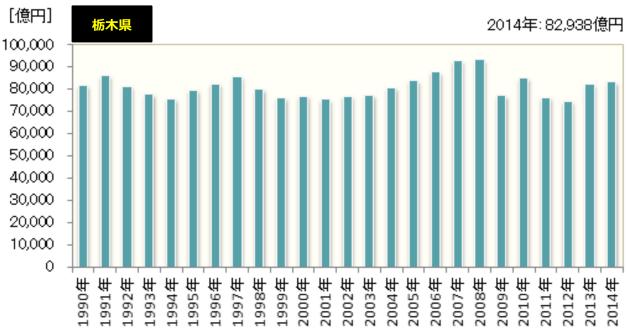
#### III-(1).益子町の工業動向

#### III-(1)-1.益子町の工業製品出荷額の推移

・この 25 年間、栃木県全体がほぼ横ばいで推移しているのに対し、益子町は 2003 年から 2008 年にかけて、工業製品の 出荷額が非常に伸長した。しかし、ここ 5 年間は、以前の水準まで戻ってしまった。ただ、決して下がることなく横ばいに推移しているため、業界としては安定しているという評価もできる。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の工業製造品出荷額等の推移

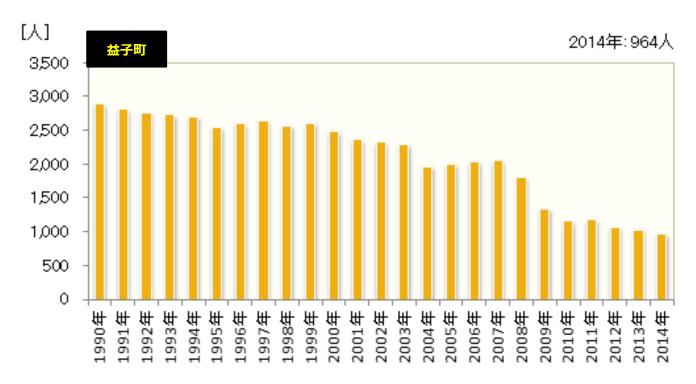


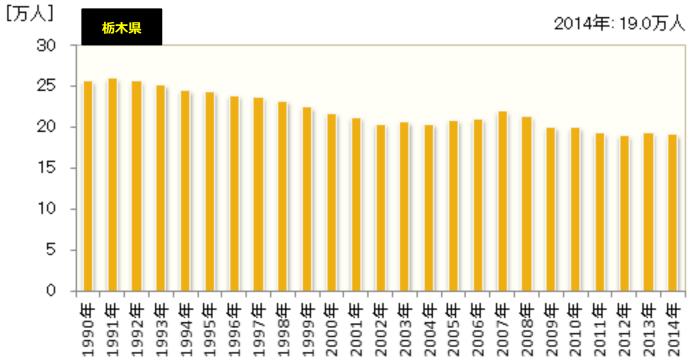


## III-(1)-2.益子町の工業従業者の推移

・この 25 年間で、栃木県も益子町も緩やかに従業者が減少している。どちらも 2007 年付近に一度盛り返したが、リーマンショック以降に大幅に減少し、そこからまた減少の一途を辿っている。減少幅は栃木県と比べても高いため、この傾向をくいとめるためにも積極的な振興策が求められる。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の工業従業者数の推移

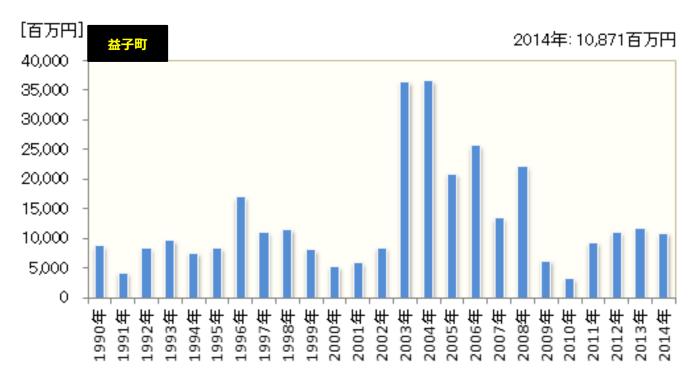


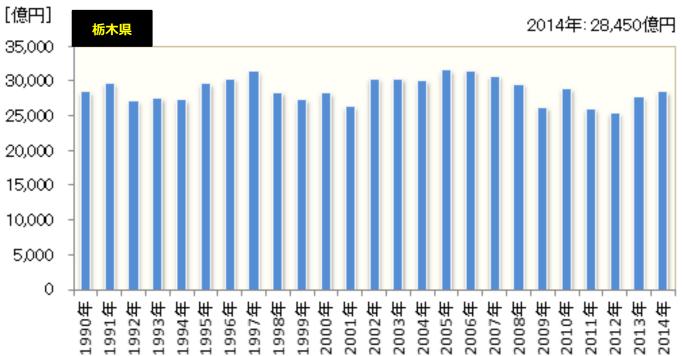


#### III-(1)-3.益子町の工業粗付加価値額の推移

・2003 年に大幅に伸長したが、そこからは減少傾向になった。特に 2008 年秋に起こったリーマンショックの影響か、2009 年、2010 年は過去 20 年で最低水準レベルまで落ち込んだ。しかし、直近の 5 年では徐々に持ち直してきている。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の粗付加価値額の推移





#### III-(1)-4.益子町の1人あたりの粗付加価値額の推移

- ・2014年の1人当たりの粗付加価値額は、益子町が1,128万円に対し、栃木県は1,496万円だった。
- ・2010年には全国対比約20%とかなり低い水準になってしまったが、そこからは順調に回復してきている。2004年には全国 平均を超していたこともあるので、このまま上昇傾向を維持していくことが求められる。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の1人当たり粗付加価値額の推移





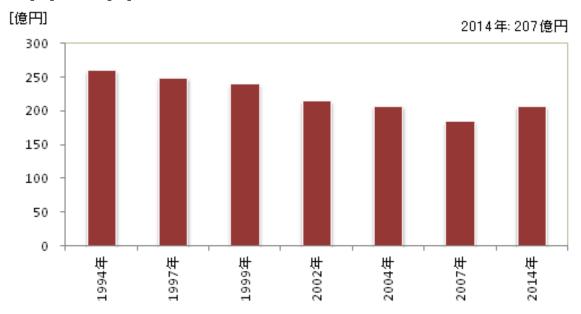
#### IV. 益子町の第3次産業等

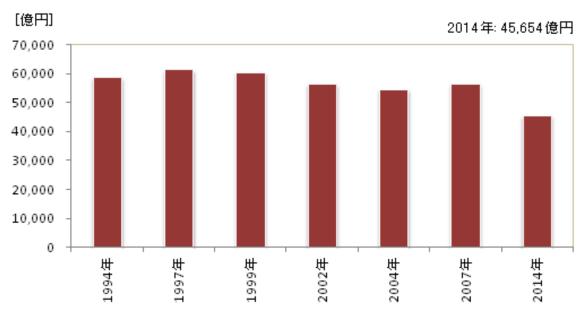
#### IV-(1).益子町の商業動向

#### IV-(1)-1.益子町の年間商業販売額の推移

・益子町の2014年の商業の年間商品販売額は207億円であった。1994年以降ずっと減少傾向であったが、7年前に比べて上昇したことは非常に前向きな要素といえる。特に、栃木県が減少しているなかで、益子町の販売額が上昇しているということは、地域独自の商業政策がうまく機能していると考えられ、この傾向を維持したい。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の商業年間販売額の推移

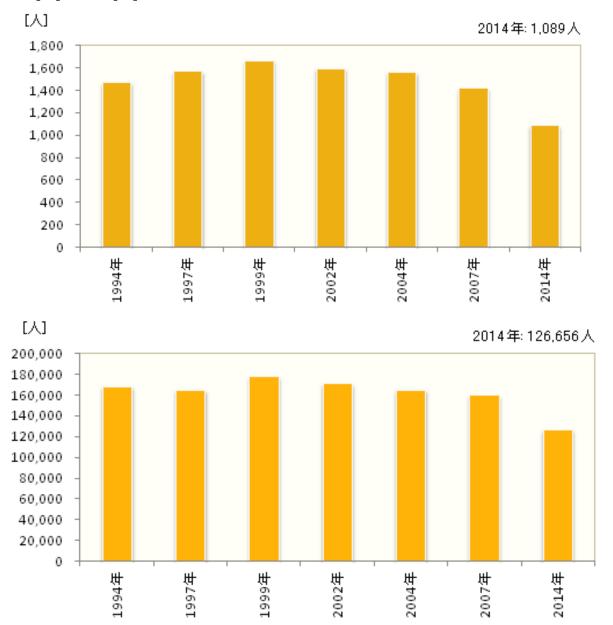




## IV-(1)-2.益子町の商業従業者数の推移

・2014 年の商業従業者数は 1,089 人で、2007 年と比べると、23.3%も減少している。いっぽう栃木県の商業従業者数は 126,656 人で、2007 年と比べるとこちらも 20.8%減少している。 どちらも直近 10 年で減少の一途を辿っており、この 7年間の減少幅はだんだん広がってきている。

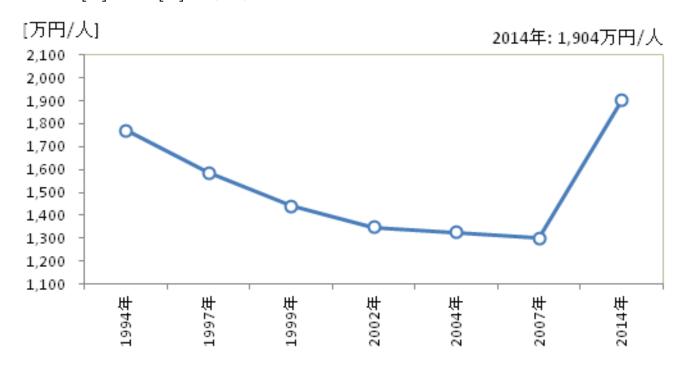
図表: 益子町[上]と栃木県[下]の商業従業者数の推移

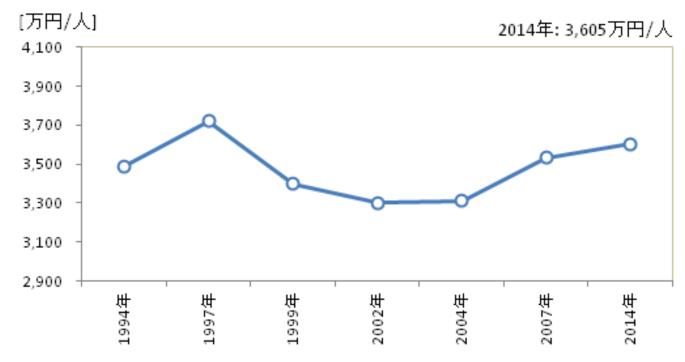


## IV-(1)-3.益子町の商業従業者1人当たり年間商品販売額の推移

・2014 年の従業者 1 人当たりの商品販売額は、1994 年以降で最も高く、19 百万円だった。2007 年度と比較しても、46%も増加している。いっぽう栃木県は、36 百万円と益子町よりも高い水準であったが、2007 年度比は 2.0%増であった。益子町は今後もこの傾向を維持することで、県の平均水準まで押し上げたい。

図表: 益子町[上]と栃木県[下]の商業従業者一人当たり年間商品販売額の推移





#### IV-(2).益子町のその他の指標

#### IV-(2)-1.益子町の創業比率と黒字赤字企業比率

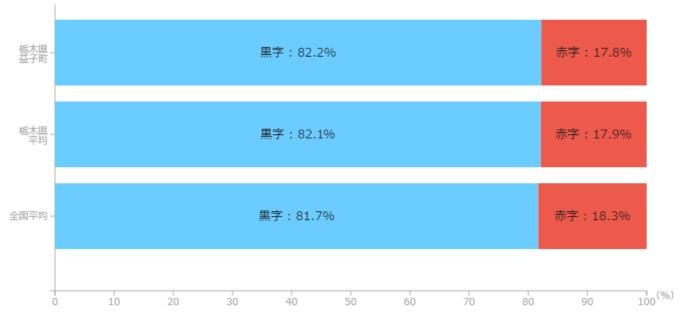
・益子町の起業比率は全国平均、栃木県平均を大幅に下回っている。いっぽうで、黒字企業は全国平均、栃木県よりもやや高い水準を維持している。このことから、堅実な企業経営を行う事業体が多いことが分かる。なお、新規事業は既存企業に比べて新しい雇用を生み出しやすいため、起業がしやすくなる環境を整えることは、地域の経済発展に寄与すると考えられる。

図表:創業比率



出典:経済産業省/内閣官房『RESAS』より筆者抜粋

図表:黒字赤字企業比率 2012年



# V. Appendix(栃木県の情報)

## V-(1).栃木県全体の情報

## V-(1)-1.栃木県の主要指標

図表:製造品出荷額の第1位が栃木県の工業製品一覧

分類	製造品	出荷額 (百万円)	出荷額(全国) (百万円)	全国順位	シェア(%)	年
木材·木製品	木質系プレハブ住宅	4,261	7,795	1位	54.7	H25
パルプ・紙・紙加工品	絶縁紙、絶縁テープ	1,453	3,054	1位	47.6	H25
プラスチック製品	硬質プラスチック発泡製品(厚板)(厚さ 3mm 以上)	21,030	93,060	1位	22.6	H25
金属製品	シャッタ	19,673	94,742	1位	20.8	H25
生産用機械器具	半導体製造装置の部分品・取 付具・附属品	39,315	337,340	1位	11.7	H25
	工業用長さ計	8,472	33,750	1位	25.1	H25
*************************************	歯科用機械器具、同装置	22,615	64,900	1位	34.8	H25
業務用機械器具	カメラ用交換レンズ	108,971	176,628	1位	61.7	H25
	光学レンズ	15,803	79,086	1位	20.0	H25
その他の製品	万年筆・シャープペンシル部分 品、ペン先、ペン軸	713	3,795	1位	18.8	H25

出典:経済産業省『平成 25 年工業統計調査』(とちぎの統計情報)

図表:栃木県の収穫量の全国順位が高い農産物一覧

品目	収穫量(トン)	収穫量(全国)(トン)	全国順位	シェア (%)	年
いちご	25,400	164,000	1位	15.5	H26
二条大麦	35,900	113,000	1位	31.8	H27
かんぴょう	382	388	1位	98.5	H24
陸稲	709	2,700	2位	26.3	H27
125	11,000	61,400	2位	17.9	H26
こんにゃくいも	1,790	61,300	2位	2.9	H27
青刈りとうもろこし	237,200	4,823,000	2位	4.9	H27

日本なし	20,700	247,300	3位	8.4	H27
六条大麦	5,480	52,700	4 位	10.4	H27

出典:農林水産省『作物統計』『特定作物統計調査』『地域特産野菜生産状況』(とちぎの統計情報)

品目	栃木県	全国	全国順位	シェア (%)	年
乳用牛飼育頭数 (頭)	53,500	1,371,000	2位	3.9	H27
生乳生産量(トン)	317,150	7,334,264	2位	4.3	H26

資料:農林水産省畜産統計(とちぎの統計情報)

品目	出荷量(千本)	出荷量(全国)(千本)	全国順位	シェア (%)	年
スプレイぎく(切り花)	21,800	241,700	3位	9.0	H26

資料:農林水産省平成26年産花き生産出荷統計(とちぎの統計情報)

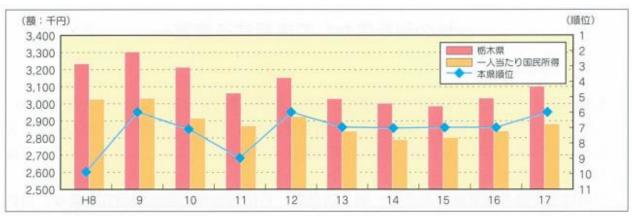
## V-(1)-2.<u>栃木の県民所得</u>

図表:栃木県の主要指標

	指標名	指標値	順位	全国
1	県民所得	6 兆 2,532 億円	15位	367 兆 6,303 億円
2	一人当たり県民所得	3,101千円	6位	2,878千円
3	労働生産性	6,078千円	7位	6,023 千円
4	労働生産性〔製造業〕	9,941千円	8-8	6,757千円
5	就業者比率	50.8%	12位	48.9%
6	県民分配率	100.4%	38位	103.2%

出典:栃木県『とちぎの統計情報』

#### 図表:一人当たりの県民所得



出典:栃木県『とちぎの統計情報』

#### 図表: 各要素上位県

	一人当たり県民所得		労働生産性		就業者比率		県民分配率	
	都道府県名	千円	都道府県名	千円	都道府県名	%	都道府県名	%
1位	東京都	4,778	東京都	8,495	東京都	65.2	埼玉県	138.6
2位	愛知県	3.524	滋賀県	6,698	愛知県	54.7	奈良県	135.6
3位	静岡県	3,344	愛知県	6,570	静岡県	53.9	千葉県	131.2
4位	滋賀県	3,275	大阪府	6,242	岩手県	53.5	神奈川県	128.9
5位	神奈川県	3,204	広島県	6,240	長野県	52.4	兵庫県	113.6
本県	6位	3,101	7位	6,078	12位	50.8	38位	100.4
全国平均	-	2.878	-	6.023	-	48.9	-	103.2

<sup>※</sup>一人当たり県民所得の全国平均欄は、一人当たり国民所得の額を掲載している。

出典:栃木県『とちぎの統計情報』

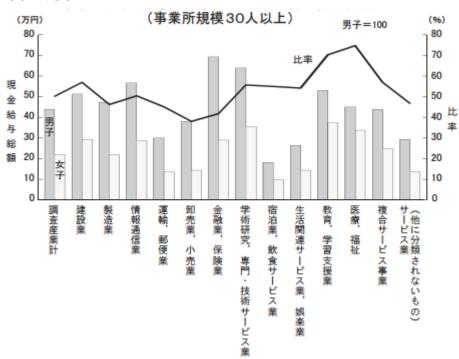
図表:産業別労働生産性

	構成比(%)	本県(a)	全国(b)	a/b
農林水産業	1.9	1,632	1,618	1.01
鉱業	0.2	10,181	5,700	1.79
製 造 業	39.4	9,941	6,757	1.47
建 股 業	5.7	4,238	4,353	0.97
電気・ガス・水道業	1.4	7,572	12,646	0.60
卸売・小売業	10.4	4,357	5,228	0.83
金融 保険業	5.2	17,293	18,054	0.96
運輸・通信業	3.9	4,254	6,538	0.65
サービス業	17.9	3,883	3,740	1.04
政 府 等	9.3	6.357	8,518	0.75

※構成比は、県内純生産による。不動産業は、県民経済計算の概念による特別な推計を行っているため除く。

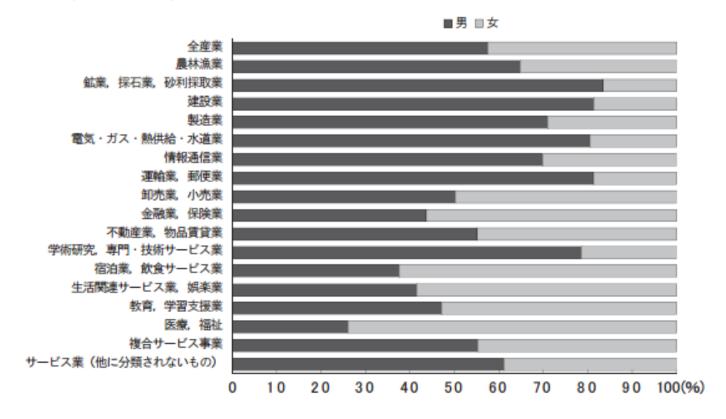
出典:栃木県『とちぎの統計情報』

図表:産業別男女別賃金と比率



出典:栃木県『とちぎの指標:経済と労働』

図表:産業別大分類別従業者の男女比



出典:栃木県『とちぎの指標:経済と労働』

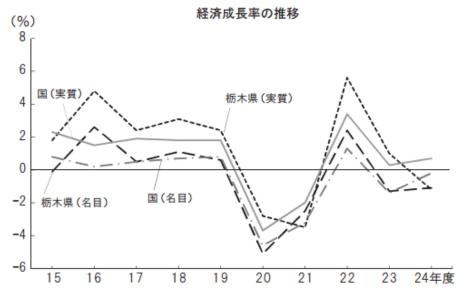
## V-(1)-3.栃木の経済状況

図表:県民経済生産の概要

区分		単位	実	数	対前年度増加率(%)		
	区分		24年度	25年度	24年度	25年度	
lu-	県内総生産(名目)	億円	77,271	82,322	<b>▲</b> 1.3	6.5	
栃士	県内総生産(実質)	億円	85 <b>,</b> 573	91,022	<b>▲</b> 1.4	6.4	
木県	県民所得	億円	59,751	64,632	<b>▲</b> 0.3	8.2	
	一人当たり県民所得	千円	3,000	3,255	0.1	8.5	
	国内総生産(名目)	億円	4,744,749	4,831,103	0.1	1.8	
国	国内総生産(実質)	億円	5,196,318	5,305,915	1.0	2.1	
	国民所得	億円	3,519,578	3,620,550	0.7	2.9	
	一人当たり国民所得	千円	2,761	2,845	0.9	3.0	

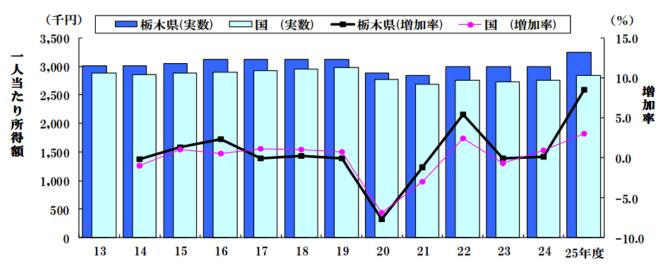
出典:栃木県『県民経済生産』

#### 図表:経済成長率の推移



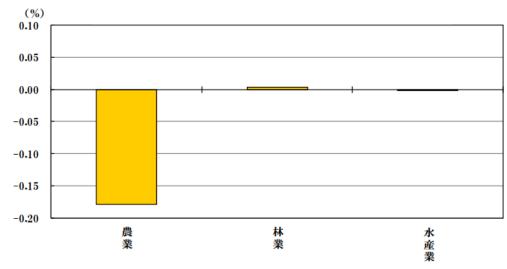
出典:栃木県『とちぎの指標:経済と労働』

図表:1人あたりの県民所得の推移



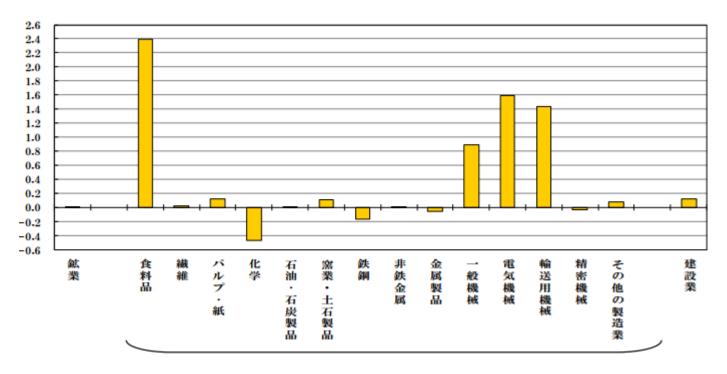
出典:栃木県『県民経済生産』

図表:1次産業の県内総生産



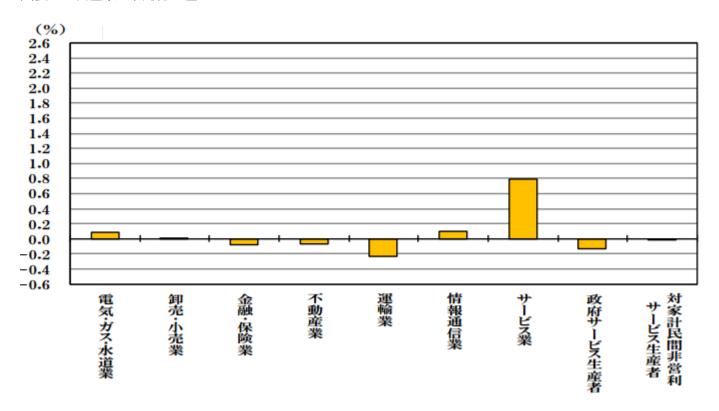
出典:栃木県『県民経済生産』

図表:2次産業の県内総生産



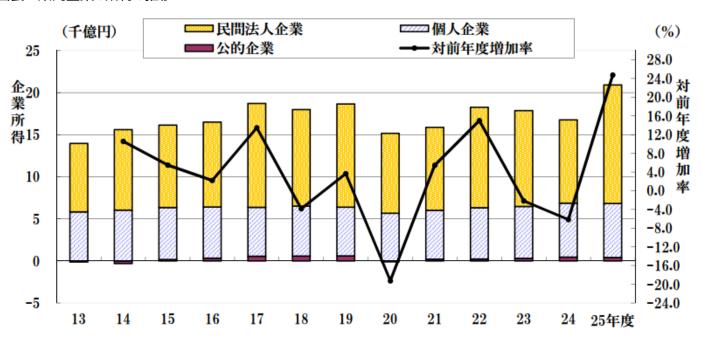
出典:栃木県『県民経済生産』

図表:3次産業の県内総生産



出典:栃木県『県民経済生産』

図表:県内企業の所得の推移



出典:栃木県『県民経済生産』

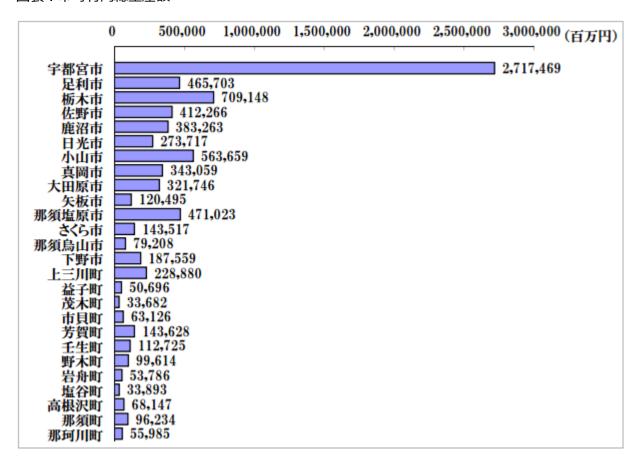
## V-(1)-4.栃木の市町村民経済計算

図表:市町村内装生産額(名目) 対前年度比 構成比

						(単位:百)	5円、%)
	市	町村内総生産物	額	対前年度比		構成比	
市町村	(名目)			(経済成長率·名目)			
1,17414	24年度	25年度	増減	24年度	25年度	24年度	25年度
栃 木 県	7,727,105	8,232,227	505,122	<b>▲</b> 1.3	6.5	100.0	100.0
宇都宮市	2,482,312	2,717,469	235,157	<b>▲</b> 2.3	9.5	32.1	33.0
足利市	466,988	465,703	<b>▲</b> 1,285	1.2	<b>▲</b> 0.3	6.0	5.7
栃 木 市	658,253	709,148	50,895	3.3	7.7	8.5	8.6
佐 野 市	408,400	412,266	3,866	<b>▲</b> 3.9	0.9	5.3	5.0
鹿 沼 市	348,392	383,263	34,871	<b>▲</b> 2.7	10.0	4.5	4.7
日 光 市	268,228	273,717	5,489	<b>▲</b> 1.0	2.0	3.5	3.3
小 山 市	564,379	563,659	<b>▲</b> 720	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 0.1	7.3	6.8
真 岡 市	326,215	343,059	16,844	3.6	5.2	4.2	4.2
大田原市	307,134	321,746	14,612	<b>▲</b> 0.4	4.8	4.0	3.9
矢 板 市	116,661	120,495	3,834	<b>▲ 5.8</b>	3.3	1.5	1.5
那須塩原市	465,569	471,023	5,454	9.1	1.2	6.0	5.7
さくら市	144,606	143,517	<b>▲ 1,088</b>	1.9	<b>▲</b> 0.8	1.9	1.7
那須烏山市	81,406	79,208	<b>▲</b> 2,198	<b>▲</b> 3.3	<b>▲</b> 2.7	1.1	1.0
下 野 市	179,445	187,559	8,114	4.2	4.5	2.3	2.3
上三川町	144,441	228,880	84,439	<b>▲</b> 24.8	58.5	1.9	2.8
益 子 町	51,830	50,696	<b>▲</b> 1,134	4.7	<b>▲</b> 2.2	0.7	0.6
茂 木 町	33,061	33,682	621	<b>▲</b> 1.3	1.9	0.4	0.4
市貝町	56,589	63,126	6,537	23.6	11.6	0.7	0.8
芳 賀 町	118,003	143,628	25,625	<b>▲</b> 3.7	21.7	1.5	1.7
壬 生 町	114,656	112,725	<b>▲</b> 1,930	<b>▲</b> 0.0	<b>▲</b> 1.7	1.5	1.4
野木町	92,162	99,614	7,451	6.3	8.1	1.2	1.2
岩 舟 町	51,978	53,786	1,808	4.3	3.5	0.7	0.7
塩 谷 町	29,411	33,893	4,481	<b>▲</b> 7.8	15.2	0.4	0.4
高根沢町	66,962	68,147	1,184	<b>▲ 3.8</b>	1.8	0.9	0.8
那 須 町	93,551	96,234	2,683	<b>▲</b> 2.4	2.9	1.2	1.2
那珂川町	56,473	55,985	<b>▲</b> 489	<b>▲</b> 5.7	<b>▲</b> 0.9	0.7	0.7

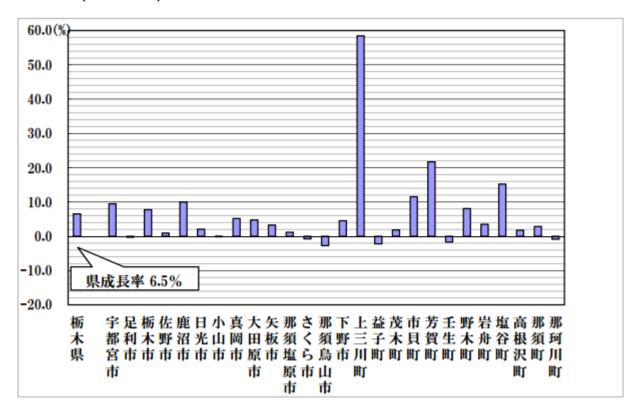
出典:栃木県『平成 25 年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表:市町村内総生産額



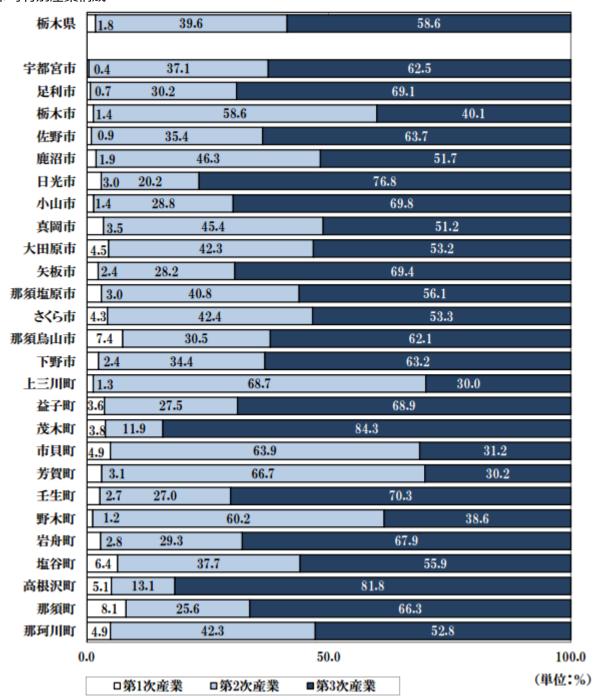
出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表:経済成長率(対前年度比)



出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

#### 図表:市町村別産業構成



出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

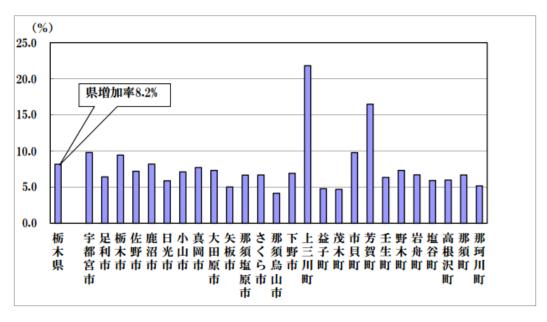
図表:市町村民所得額 対前年度比 構成比

(単位:百万円、%)

	( <b>学位·日</b> 月月、70/								
	leme k k		ī	市町村民所得額	Á	対前年	度比	構成	让比
η	市町村		24年度	25年度	増 減	24年度	25年度	24年度	25年度
栃	木	県	5,975,074	6,463,154	488,080	<b>▲</b> 0.3	8.2	100.0	100.0
	都 宮	市	1,709,596	1,876,795	167,199	<b>▲</b> 0.5	9.8	28.6	29.0
足	利	市	416,876	443,652	26,776	<b>▲</b> 0.1	6.4	7.0	6.9
栃	木	市	429,905	470,432	40,527	<b>▲</b> 0.1	9.4	7.2	7.3
佐	野	市	338,228	362,595	24,367	<b>▲</b> 0.9	7.2	5.7	5.6
鹿	沼	市	291,228	315,085	23,856	<b>▲</b> 0.3	8.2	4.9	4.9
日	光	市	238,285	252,285	14,000	<b>▲</b> 0.4	5.9	4.0	3.9
小	Щ	市	492,330	527,356	35,025	<b>▲</b> 0.5	7.1	8.2	8.2
真	岡	市	239,036	257,424	18,388	0.3	7.7	4.0	4.0
大E	田 原	市	218,308	234,255	15,947	0.0	7.3	3.7	3.6
矢	板	市	93,850	98,553	4,703	<b>▲</b> 3.0	5.0	1.6	1.5
	負塩原	市	349,670	372,963	23,293	1.4	6.7	5.9	5.8
_	くら	市	127,034	135,515	8,481	0.6	6.7	2.1	2.1
那多	負鳥山	市	75,543	78,679	3,136	<b>▲</b> 1.1	4.2	1.3	1.2
下	野	市	186,429	199,279	12,851	1.5	6.9	3.1	3.1
	三川	町	99,333	120,999	21,666	<b>▲</b> 8.0	21.8	1.7	1.9
益	子	町	62,741	65,735	2,994	1.9	4.8	1.1	1.0
茂	木	町	35,512	37,174	1,662	<b>▲</b> 0.8	4.7	0.6	0.6
市	貝	町	38,446	42,204	3,758	3.9	9.8	0.6	0.7
芳	賀	町	54,558	63,547	8,990	<b>▲</b> 3.1	16.5	0.9	1.0
Ŧ:	生	町	112,053	119,155	7,102	1.4	6.3	1.9	1.8
野	木	町	77,593	83,266	5,672	<b>▲</b> 0.3	7.3	1.3	1.3
岩	舟	町	49,981	53,327	3,346	0.8	6.7	0.8	0.8
塩	谷	町	31,873	33,760	1,887	<b>▲</b> 1.0	5.9	0.5	0.5
	拫 沢	町	89,892	95,263	5,370	1.1	6.0	1.5	1.5
那	須	町	69,511	74,154	4,643	0.4	6.7	1.2	1.1
那爭	可川	町	47,263	49,702	2,439	<b>▲</b> 1.5	5.2	0.8	0.8

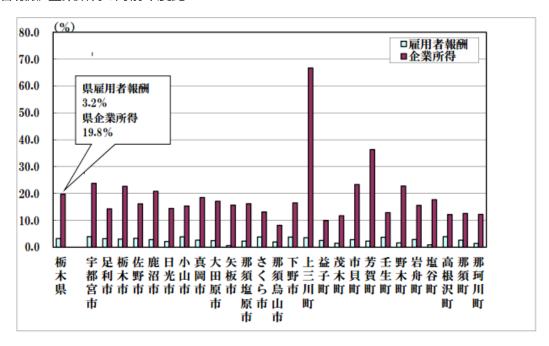
出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

図表:市町村民所得対前年度比



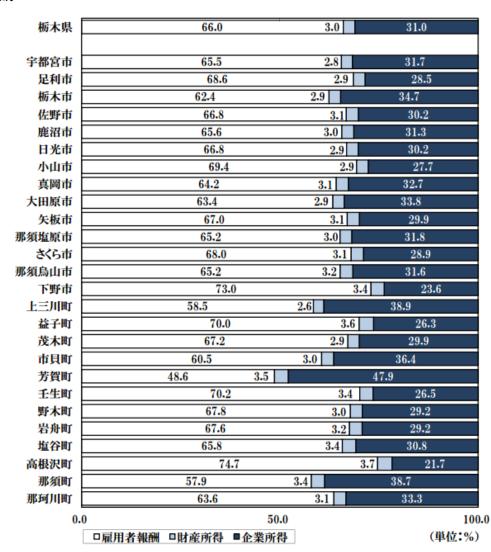
出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

#### 図表:雇用者報酬・企業所得の対前年度比



出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

#### 図表:所得の構成



出典:栃木県『平成25年度 とちぎの市町村民経済計算(概要)』

## 【作成/監修】

〒324-0054

栃木県大田原市若松町 505-1 柴田若松コーポ 103 号 株式会社ネオクラシック 中小企業診断士 柴田 幸紀